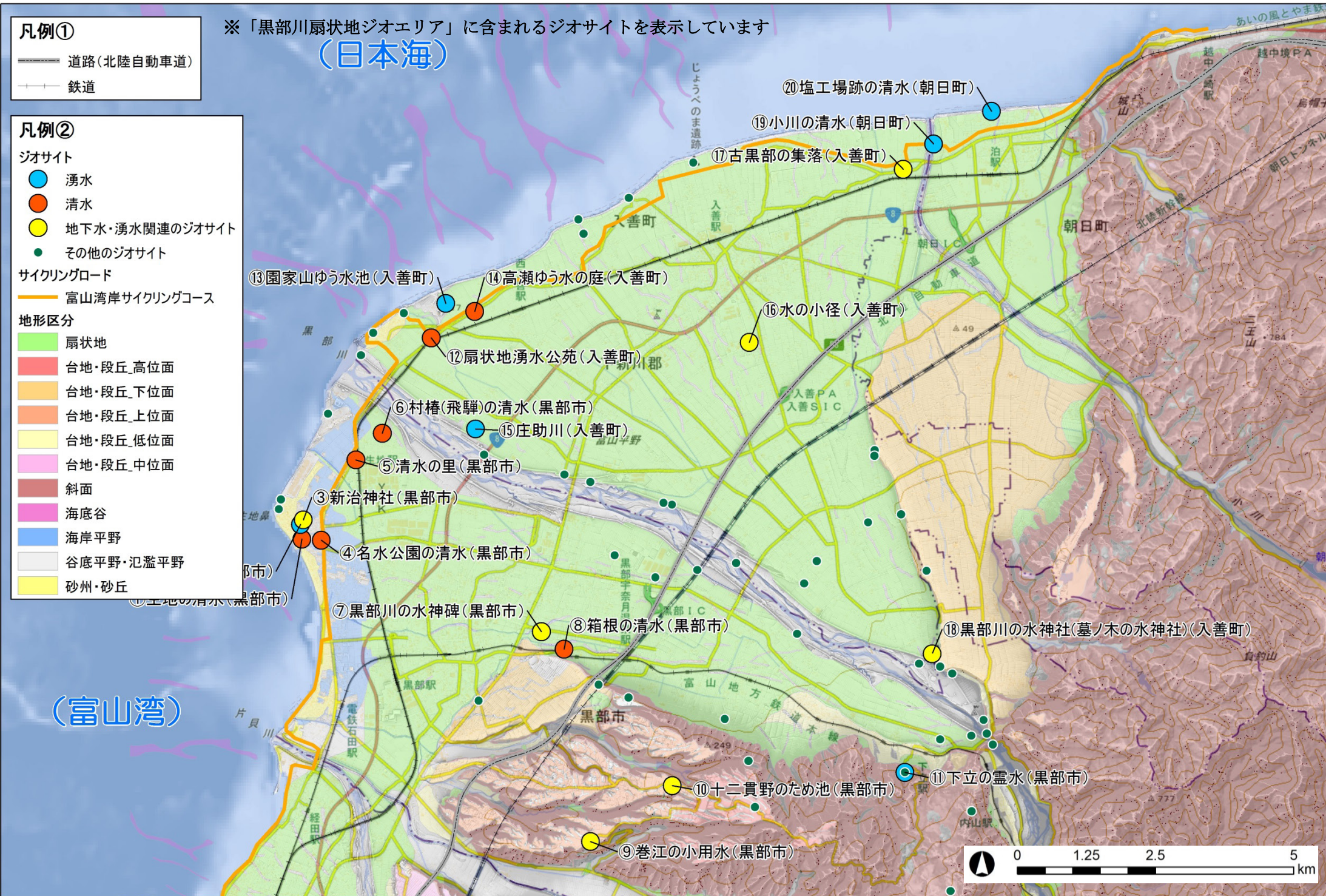


図 B-3 黒部川扇状地の地下水ジオサイト 観光資源としての水、地下水、湧水を概観する



- ・平成 26 年(2014 年)8 月、美しい自然景観や学術的に価値のある地形・地質を有し、日本を代表する高山、立山連峰から日本最大級の面積を誇る黒部川扇状地を経て富山湾に至る「立山黒部」が日本ジオパークに認定されました。
- ・翌、平成 27 年(2015 年)3 月には北陸新幹線が開通し、「黒部峡谷・黒部川扇状地」の自然や文化を多くの人々に知っていただく契機となっています。
- ・ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる地域で、その見どころとなる場所が「ジオサイト」として指定されています。
- ・黒部川扇状地地区のジオサイトを地図に表示すると扇状地全体に分布し、見どころが満載です。
- ・このうち、地下水・湧水・水に関わるジオサイトは、やはり湧水地帯の扇端部に多く見られますが、山沿いの湧水や台地の縁にある湧水なども指定されています。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 ●●●●●)」
 「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の 5 万分の 1 地形図、電子地形図 20 万及び電子地形図(タイトル)を複製したものである。(承認番号 ●●●●●)」

| 凡例名 | 原典情報 |
|---------------|---|
| ジオサイト | 立山黒部ジオパーク 黒部川扇状地ジオエリア/立山黒部ジオパーク HP (http://tatekuro.jp/) |
| その他の湧水 | 名水の里「黒部」・清水のまち「生地」 生地まち歩きマップ/黒部市 |
| 河川 | 国土数値情報(河川)データ 2007 年度/国土交通省 国土政策局 |
| 越湖(コラム) | 越湖に関する資料/願楽寺 |
| 地形区分 | 沿岸海域土地条件図「黒部」(1:25,000)/国土地理院 |
| 道路 | 数値地図 25000(空間データ基盤)「道路中心線」/国土地理院 |
| 鉄道 | 基盤地図情報「軌道の中心線」/国土地理院 |
| 背景 | 標準地図(地理院地図)/国土地理院 基盤地図情報「数値標高モデル」5m メッシュ(標高)、10m メッシュ(標高)/国土地理院 赤色立体地図 /アジア航測(株) ※特許第 3670274 号 |
| 富山湾岸サイクリングコース | 富山湾岸サイクリング実行委員会 |

△注意! 必読のこと!! 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。

① 生地の清水 (黒部市)



生地の旧市街地を通る旧県道沿いに多くの湧水「清水(しょうず)」があり、共同洗い場として利用されている。

⑥ 村椿(飛驒)の清水 (黒部市)*



黒部市飛驒公民館の玄関前の水飲み場。

⑪ 下立の霊水 (黒部市)*



下立の十二貫野台地につながる段丘崖の谷川のふちに湧く清水。

⑯ 水の小径 (入善町)*



入善用水沿いに作られた浅い水路と街路樹や花壇が施設された散歩道的な歩道。

② 月見島の清水 (黒部市)



生地の新治神社の境内にある池に湧く清水。

⑦ 黒部川の水神碑 (黒部市)*



水神碑は石碑のように岩石を組み合わせ積み上げられている。

⑫ 扇状地湧水公苑 (入善町)



県道生地入善線に隣接して設けられた自噴水に関する公園。

⑰ 古黒部の集落 (入善町)*



寛永14年(1637)に墓ノ木からの黒部川の分流がせき止められたことから分流の流域が開拓が可能となって逐次入植開墾が行われた。

③ 新治神社 (黒部市)*



境内には月見島の湧水がある。

⑧ 箱根の清水 (黒部市)*



江戸時代の北陸道の夏街道の脇に湧く清水。

⑬ 園家山ゆう水池 (入善町)*



扇状地の扇端における昭和より前の風景を復元するために設置された公園。

⑱ 黒部川の水神社(墓ノ木の水神社) (入善町)*



黒部川の流れるが実質的に平野部に解放される墓ノ木の河岸段丘崖下、黒東合口用水と黒部川の堤防に挟まれた地に祀られた水護神社。

④ 名水公園の清水 (黒部市)*



黒部漁港に隣接して港湾環境の整備を目的に設置された公園に湧く清水(自噴水)。

⑨ 巻江の小用水 (黒部市)*



巻江とは上の田の余った水や漏れた水を集めて下の田などに供給する小さな用水。

⑭ 高瀬ゆう水の庭 (入善町)



「黒部川扇状地湧水群」の湧水の一つ。県内外から水を求めて訪れる人が多い

⑲ 小川の清水 (朝日町)*



小川河口右岸約500mに位置し、堤防に並行して作られた自然堤防と堤防の間に湧く清水

⑤ 清水の里 (黒部市)*



あいの風とやま鉄道生地駅前の駅前広場に施設された自噴水の水飲み場。

⑩ 十二貫野のため池 (黒部市)*



十二貫野段丘は用水の確保が難しく放置されていたが江戸後期の天保12年(1841)の椎名道三による十二貫野用水の完成により開墾が可能となった。

⑮ 庄助川 (入善町)*



民地の池の湧水を水源とし、湧水が年中絶えることないので常に清潔な水が流れ、バイカモ等の水草が繁茂している。

⑳ 塩工場跡の清水 (朝日町)*



朝日町泊の市街地近くの海岸の防潮林に湧く清水。

*写真は「黒部立山ジオパーク」HPより (<http://tatekuro.jp/enjoy/pointList.php?aid=3&result>)

△注意! 必読のこと!! 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。



いわせけ しょうず
岩瀬家の清水



こうぼう しょうず
弘法の清水



とのさましょうず
殿様清水



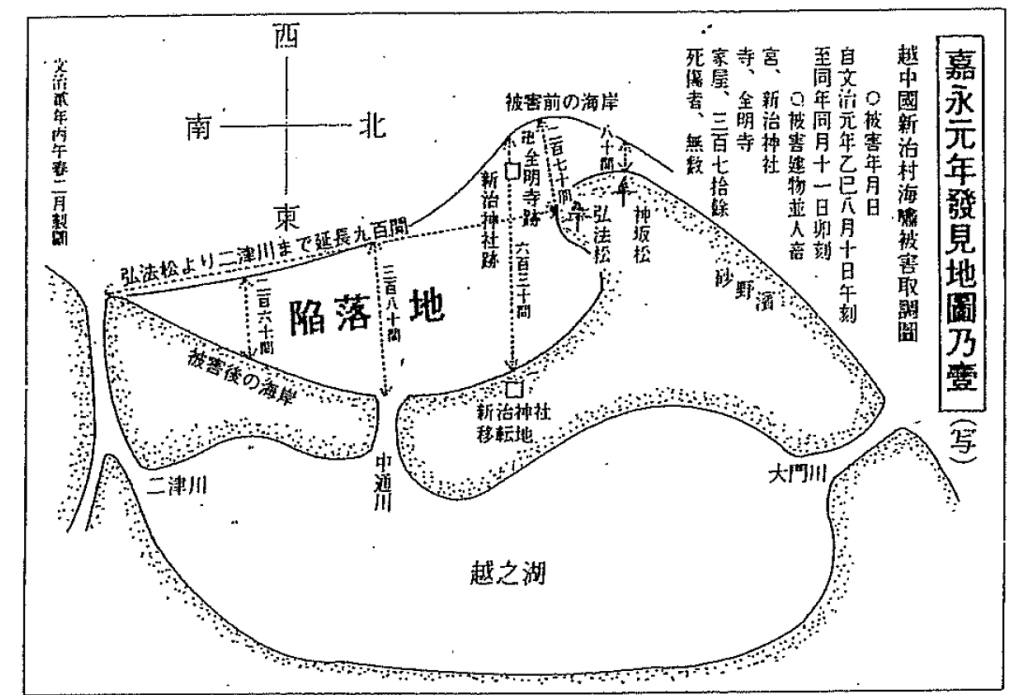
ぜんみょうじ しょうず
前名寺の清水



「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、電子地形図20万及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 ●●●●)」

【生地の湧水と幻の越湖(コラム)】

- 黒部市生地地区は古くから、漁港周辺に栄えた街で、**海岸平野(A)の海側に小高い砂丘(B)が発達した地形の上に集落が作られて**いった。
- 海岸平野の部分は、**古くは潟湖**になっていて、越湖(または越の湖)と呼ばれていた。**現在でも一部に蓮田がみられたり、軟弱な地盤が分布している。**
- 生地集落の陸側には、砂丘よりも標高の低い**海岸平野**が広がっていて、昔は暴風雨と満潮が重なったりすると川を水が逆流して稲田が水浸しになっていたという。
- この対策として、十二貫野用水の敷設に来ていた**椎名道三**に助言を求め、弘化3年(1846)と寛永4年(1851)にかけて**背戸川(C)の堀川工事**が行われた。その結果、生地村と生地新村の南部と東北一帯の**浸水の害**がなくなった。
- 漁港より南側の地区では、被圧された地下水が標高の高い砂丘の中央付近で湧出していて、その排水は**東側に向かって(海側ではなく、陸側に向かって)流れて、背戸川に注いでいる。**
- 生地地区の清水は隣り合ったものでも、**味や温度が異なっていて、バラエティーに富んだ地下水の味が楽しめる。**黒部川扇状地では**浅い地下水は流れが速く、冷たくておいしい。**深い地下水は地中で温められるため水温が少し高くなる。



△注意! 必読のこと!! 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。